

第 16 回 INAP 会議・総会
スービック湾港からの報告書

2014 年 11 月 11 日から 13 日の日程で、「ASEAN 経済共同体がもたらす可能性」をテーマに第 16 回 INAP 会議・総会が開催されました。1998 年の INAP 創設時のメンバーであるスービック湾港が INAP 会議・シンポジウムの開催港を務めるのは今回で 3 回目です。私は、INAP の会長に新しく選出された者として、スービックにあるライトハウス・マリナー・リゾートホテルとスービックベイ・コンベンション・エキシビジョンセンターにおいて 2014 年 11 月 11 日から 13 日の日程で開催された第 16 回 INAP 会議が大成功に終わり、この港湾組織の歴史に新しい布石を刻んだことを全会員港にお知らせしたいと思います。この場をお借りして、会員港の全面的なご支援とご参加に謝意を申し上げます。合わせて、INAP 事務局ならびにスービック湾都市開発庁 INAP 委員会の皆様にも、その素晴らしい仕事に感謝を申し上げます。

今回の INAP 会議には、港湾関係者、スービック・フリーポートの施設設置者、政府官庁から 200 名を超える方々をお迎えしました。内訳としては、INAP 会員港からは、日本の高知港から 34 名、次いで、今回から新しく会員港となった韓国の唐津港から 23 名、さらに、セブ港から 10 名、木浦港から 9 名、スービック港から 5 名、スリランカのコロンボ港から 3 名、インドネシアのタンジュンペラ港から 2 名の合計 86 名でした。

第 1 日目（2014 年 11 月 11 日）は、スービック湾港フリーポートゾーンに代表者の方々をご案内し、様々なインフラ、このゾーンの投資開発状況について新しい情報をご提供しました。特に、港湾施設を中心にご案内させていただきました。次いで、ライトハウス・マリナー・リゾートホテルにおいて、スービック湾都市開発庁（SBMA）主催による歓迎夕食会が催されました。

この夕食会において、韓国の金洪穢（キム・ホンジャン）唐津市長から自己紹介をいただき、INAP への加盟のご意志を表明していただきました。第 2 日目（2014 年 11 月 12 日）は第 16 回 INAP 会議のメインイベントでした。まず、INAP 会員港の代表団の方々のご参加で、由緒あるスペインゲートの前で写真撮影が行われました。このゲートは、1800 年代当時、スービックに存在していたスペイン海軍施設の正門として使用されたものです。次いで、スービックベイ・コンベンション・エキシビジョンセンター（SBCEC）の VIP ルーム 1 において、INAP 総会が開催されました。前 INAP 会長の高知港の尾崎正直知事からロベルト・V・ガルシア SBMA 長官に対して、INAP 会長職の引き継ぎが行われました。唐津港が INAP 組織の第 8 番目の会員港として紹介され、2015 年第 17 回 INAP の主催港として木浦新港が承認されました。次のプログラムは、INAP 各会員港による、本年のテー

マである ASEAN 経済共同体に関するプレゼンテーションを実施しました。アセアンマネジメント研究所 (ASEAN Institute of Management) の代表者から、ASEAN 統合について別途報告ののち、フィリピン港湾局の国際コンテナターミナルサービス、運送セキュリティオフィス・DOTC、最後に国際協力機構 (JICA) による個別報告が行われました。これらのイベントとは別会場で、高知港、唐津港のメンバーとフィリピンのビジネスグループとの間でビジネスマッチングが別途開催されました。第 16 回 INAP 会議の締めくくりとして、スービックベイヨットクラブで夕食会が開催され、ロベルト・V・ガルシア SBMA 長官兼 INAP 会長ならびに INAP 各港代表者による記念品の交換が行われました。第 2 日目のイベントの様子がビデオ上映され、INAP の成長力とポテンシャルが強調されました。

スービック湾港は、スービック湾都市開発庁とともに、今回の INAP 会議を主催することができたことを誇りに思うとともに、光栄に存じます。ASEAN は、2015 年の統合に向けて準備を進めています。新しいビジネスチャンスを開拓し INAP の繁栄に向けてともに力を合わせていこうではありませんか。

ありがとうございました。

ロベルト・V・ガルシア
スービック湾都市開発庁
INAP 第 16 代会長